

親子でつくろう!

食べて応援、作って応援

ベランダ
菜園

栽培の難易度

中

コンテナの大きさ



大型

ショウガ
(ショウガ科)

ベランダ栽培のポイント

- 1.強い光を嫌うので、ベランダ菜園や露地栽培の空きスペースで栽培できる。
- 2.夏に葉ショウガを収穫、残った株は秋に新ショウガとして収穫。
- 3.葉ショウガをとりすぎると新ショウガがなくなるので注意。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
植えつけ 期間												
収穫 期間												

葉ショウガ

新ショウガ

捨てる場所ナシ、
とことん使いきる

夏に若い葉が5〜6枚開いたら収穫する葉ショウガ、晩秋までおいておけば、十分に大きくなった新ショウガ(根ショウガ)が掘り出せます。植えた種ショウガもヒネショウガとしておろしなどにして食べられます。

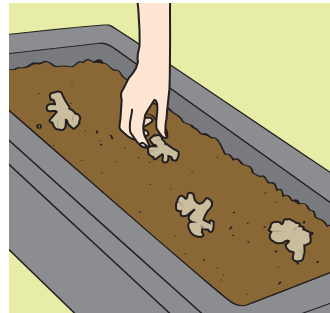
1.スタート 植えつけ

日なたに置いて芽出し

植えつける前に、種ショウガを1週間くらい日に当てると、生育が早くなります(雨に当てないように)。植えつけ後は4〜5週間で芽が出ます。



芽が少し出てきたところで植えつけ。種ショウガが大きいときは、芽をつけて1片60g程度に切り分ける。

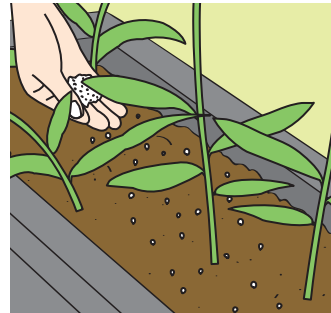


大型プランターの四隅に、それぞれ30cm程度の間をあけて種ショウガを植える。土の深さは約10cm、芽の出ているほうを上に向けて土をかぶせ、たっぷり水やりする。

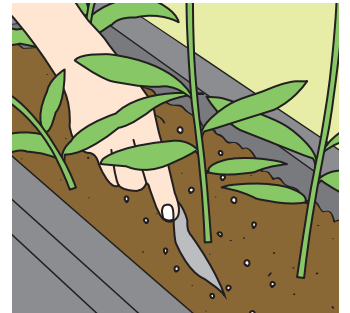
2.1カ月〜 追肥

乾燥に弱いので、夏場はせつせつと水やりを

芽が伸びだしたら、化成肥料20gを株まわりに追肥します。以降、1カ月に1回、同量の化成肥料をまきます。



化成肥料20g(1株あたり5g)をまく。



肥料をまいたあと、株元に土を寄せる。土の量が減ってきたら、新しい土を足す。

3.3〜6カ月 収穫・保存

夏に葉ショウガ(3カ月〜)、秋に新ショウガ(5〜6カ月)

若い芽を葉ショウガで楽しみ、残りは秋まで育てます。香りのよい葉は入浴剤として利用できます。



夏場、葉が旺盛に茂ってきたら、若い芽を折り取って葉ショウガとして収穫。



残す芽が抜けないよう、株元を手で押さえて折り取る。



葉が茶色く枯れ始めたら、霜が降りる前に新ショウガを収穫。種ショウガも食べられるので捨てずに利用する。

JAのフレッシュライス



JAとうと「ふれあいパーク浅野」では、玄米をキログラム単位で精米するフレッシュライスを提供しています。地元産のコシヒカリ、ミネアサヒ、ミルキーQueen、ハツシモから新潟コシヒカリ、山形県のつや姫等ブランド米も取り揃えています。ぜひ一度お試しください。

ふれあいパーク浅野 営業時間/8:30〜17:30 日祭日休業



お問い合わせ先：JAとうと経済部 TEL 0572-68-5120